



職員計画

職員定数について、事業規模とのバランスをチェックする体制を強化し、職員数の適正化を図ります。なお、平成 16～19 年度は、原則として正規職員の新規採用を停止します。

《職員定数削減計画：平成 15～19 年度》

内 容	削減人数
①事業規模の見直し	△ 301 人
②業務執行体制の見直し	△ 186 人
合 計	△ 487 人

※ 上記の他、市営地下鉄・市営バスの両事業にわたる事務を行う総務部門の職員定数は、平成 20 年度までに 62 人を削減します。

(単位：人)

区分	平成 14 年度 職員定数	計画における削減定数			平成 19 年度 職員定数
		計画	内訳		
			①	②	
バス乗務員	1,761	△ 383	△ 286	△ 97	1,378
その他職員	454	△ 104	△ 15	△ 89	350
合 計	2,215	△ 487	△ 301	△ 186	1,728



財政収支計画

一般会計繰入金については、特別乗車証負担金（営業収入）の削減と任意補助金（営業外収入）の廃止を平成19年度までに実施します。また、民間競合路線の移譲等により乗車料収入（営業収入）の減少が見込まれますが、人件費の抑制をはじめとするコスト削減などアクションプログラムの取り組みにより、平成19年度には営業損益均衡が図れる見込みです。

（単位：億円）

区 分		16 年度	19 年度
収益的 収支	営業収入 (A)	268	238
	営業費用 (B)	287	238
	営業損益 (C) = (A-B)	△ 19	0
	営業外収入 (D)	(うち任意補助 26) 27	(うち任意補助 0) 2
	営業外費用 (E)	2	2
	経常損益 (F) = (C+D-E)	6	0
累積赤字 (G)		△ 28	△ 27
収 支 資 本 的	収 入 (H)	41	22
	支 出 (I)	60	44
	差 引 (J) = (H-I)	△ 19	△ 22
損益勘定留保資金 (K)		27	22
差引資金不足 (L) = (J+K)		8	0
累積資金不足 (M)		△ 5	2

※平成16年度は、給与カットなど予算では見込んでいないコスト削減を反映しているため予算額とは異なります。

なお、営業収入には、一般会計からの法令補助を含みます。

【参考】 平成14年度実績（決算）

- 営業費用：305億円
- 一般会計補助金額：任意補助29億円、法令補助8億円

横浜市交通局経営理念

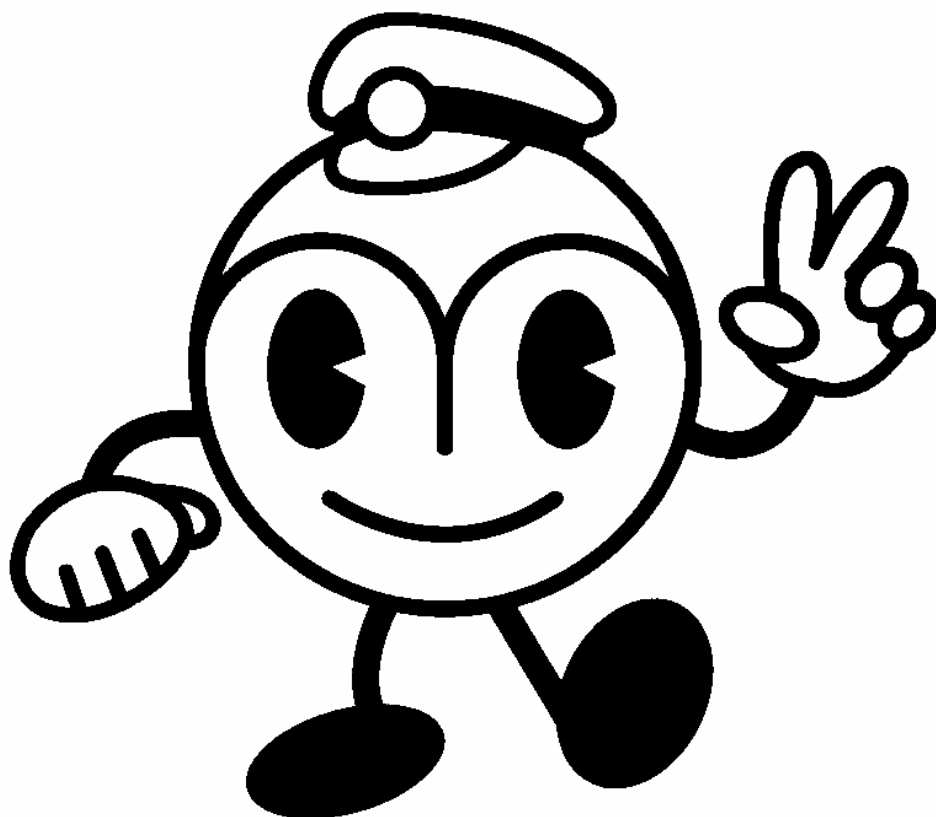
私たちの決意

私たちは、安全・迅速・快適な交通ネットワークづくりに貢献し、お客様に満足していただけるサービスを提供します。

- (1) 笑顔と挨拶を忘れず、お客様の声を大切にします。
- (2) 人と環境を大切にし、ヨコハマの街づくりに貢献します。
- (3) 健全経営をめざし、常に努力します。
- (4) 考え、学び、挑戦し、活力ある明るい職場をつくります。

私たちのメッセージ

信頼を心で運ぶ市バス・地下鉄



平成 16 年 3 月 31 日 発行

編集・発行 横浜市交通局総務部経営計画課
〒231-0017 横浜市中区港町 1 丁目 1 番地
TEL (045)671-3207
FAX (045)664-3266

350万市民が
ごみ減量・
リサイクルに挑戦!

ヨーハマはG30

ジー サンリユウ